



青南だより

令和5年 2月号

港区立青南幼稚園

園長 新山 裕之

<実体験を通してこそ感じる>

餅つきの前日には、年長児が米研ぎをしました。当日は、セイロで蒸したもち米のいい匂いを嗅ぎ、つく前に、ひと口味わうこともしました。年長児は、鏡餅作りにも挑戦しました。どれも多くの子が初体験だったようですが、特に鏡餅を丸めるときの温かさや感触は、実際にやってみなければ感じる事ができない貴重な体験でした。帰りには飾った鏡餅をツンツンと触ってみる子もいました。餅つき委員やお手伝いの皆さんのお陰で、実体験の大切さを強く感じた一日でした。本当にありがとうございました。

<責任をもって役割を果たす>

年長児は、当番活動としてうさぎのみみくんの世話やお休み調べや靴箱の掃除など、生活の中で自分たちができる仕事を分担して行っています。仲間と協力しての当番活動では、責任をもって役割を果たすためにも朝のスタートが大事です。また、1月の誕生会では、年長児が年中児に司会の仕方を教え、一緒にひな壇に上りました。お辞儀をして司会の言葉を言う際は、ドキドキしている様子でしたが、司会が終わるとどの子の表情にもやり遂げた満足感にじみ出ていました。

<よりよい保育実践を目指して>

年末には、保護者向けの園評価アンケートにお答えいただき、園としても一年間の指導を総合的に振り返りました。それらを受けて、来年度の教育課程の編成に向けての作業を進めているところです。自然との関わりは、引き続き充実を図ります。親子で直接体験を共有することも大切にしたいと思います。コロナをきっかけに工夫して成果をあげた部分は継続することもあります。後日、改めて説明の機会をもちますが、様々な変化も前向きに捉えて工夫していきますので、どうぞよろしくお願いいたします。



餅つきは幼稚園ならではの貴重な体験



どんな感じ? まだ柔らかいのかな?



みみくん、きれいにするから待ってね



誕生会の司会を引き継いでいきます



落ち葉を投げ上げると気持ちいい!



粉々になった落ち葉は土工場に

青南の 二十四節気

・・・如月 (きさらぎ)・・・

立春 (4日) …フキノトウが顔を出し始めます…

雨水 (19日) …コブシの蕾がふくらんできます…

遊び込んだ落ち葉を土工場に入れる前に、葉っぱと砂とを分けるための作業は、ビールケースの上にカゴを乗せた「特製マシン」を使ってしています。子どもたちにとっては楽しい遊びで、息を合わせるために「つちこうじょう! つちこうじょう!」と掛け声を掛けながら動かす姿は、青南幼稚園のこの季節の風物詩になりつつあります。

豆まきをして鬼を追い払うと、翌日は立春です。裏庭には、フキノトウが芽を出していて、寒さの中にも少しずつ春の足音が聞こえてきます。皆さんも、身の回りで小さな春を探してみませんか。